

日本版PIC研修会のご案内

日本PIC研究会

シンボルでコミュニケーションをとれるようにするには、学習者の発達やコミュニケーション能力に応じた指導、目的に合う指導をすることが必要です。研修会では、シンボルでコミュニケーションをとるための基本的な指導方法を学習者の発達段階に応じて、解説します。コミュニケーションの基礎を育てるための指導、やりとりを豊かにするための指導を具体的に紹介します。初心者の方、シンボルを使ってみたが思うように効果をあげられなかった方、いろいろな指導方法を知りたい方等、ぜひご参加ください。

さらに、シンボルによるコミュニケーションが有効であった被虐待障がい者の事例を紹介します。どのようにして心をひらくことができたのか、学びたいと思います。

• 2013年
9月7日(土)
13:00~16:15

日時



• 同志社大学
今出川キャンパス
扶桑館F103
(裏面の案内図をご覧ください)

場所



• コミュニケーション
• 指導方法
• 事例

キーワード



発達に応じたシンボルによるコミュニケーション指導

1. コミュニケーションの基礎を育てるためのシンボルの導入と指導方法
榎場 政晴(大阪府立茨木支援学校教諭)
2. やりとりを豊かにするためのシンボルを使った指導
藤澤 和子(京都府立南山城支援学校教諭)

事例報告

被虐待障がい者に有効な視覚支援について

小林 美津江(大阪府立金剛コロニー職員)



申し込み

参加費 会員 1000円 非会員 2000円 (当日お支払いください。) 定員 30名
申し込み先 メール:k009_nagano@yahoo.co.jp (←k009_の0は数字、_ は、アンダーバーです。)
氏名、ふりがな、住所、メールアドレス、所属を明記の上、お申し込みください。
こちらから受け付けの確認のメールを送らせていただきます。

